

重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会の取組事例

～松山市で風水害対応図上型防災訓練を実施～

- 平成30年5月16日に松山市において、風水害発生時の役割の確認や対策活動上の問題点や課題を抽出し、災害対応能力の向上を図ることを目的に図上型防災訓練を実施しました。
- 訓練は、コントローラーからの状況付与により、プレイヤーが災害対応を行うもので、大雨による浸水害や土砂災害、道路被害等を想定し、様々な応急対応や、住民からの情報や要望等に対する対応訓練を行い、職員の災害対応能力と防災意識向上を図りました。

◆訓練主眼(メイン項目)

- ・災害対策本部の運営、
- ・各班の対応方法の確認
- ・情報伝達の確認
- ・避難勧告の判断及び発例示の行動の確認

◆訓練方式

- ・ロールプレイング型の「ブラインド方式」

◆参加者

- ・約130名



コントローラーによる状況の付与



プレイヤーによる訓練の様子



各班の対応の様子